

## 新年のごあいさつ

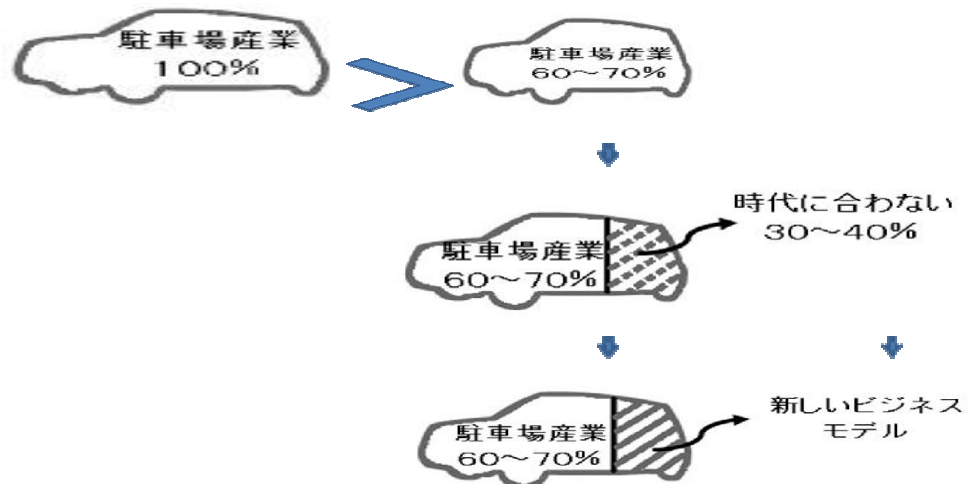


駐車場改革推進協議会  
理事長 大嶋 翼

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、「上り坂」「下り坂」それに「真坂」という想像できない激動の一年であったと思います。

駐車場産業においても、このような時代の潮流に大きな影響を受け駐車場全体、即ちハードウェア、ソフトウェア両面にわたって社会的劣化、それに伴う経済的劣化が顕著であります。

その影響度合いは、2008年までの駐車場ビジネスモデルを100%とすると、現在は60%~70%となり、従来のビジネスモデルは陳腐化に陥っていると言っても過言ではないと考えます。



自動車メーカーの車の販売台数は、2009年度では、中国が1300万台、米国が900万台、日本国は、500万台となると予測されています。日本は何と40%の落ち込んだ状況になることが現実となっています。

このような状況の中、2010年における駐車場産業はまだまだ「閉塞感」が続き、駐車場産業の生死をかけた戦いが正に現実となっているのではないのでしょうか。

そこで、駐車場改革推進協議会は会員の皆様と共に新年度の新しい駐車場産業のあり方は何であるのか、その駐車場マネジメントはどの様に考えるのか、更に新技術の方向はどこにあるのか、皆さんと共に新しい時代に向けて研究・開発できればと考えております。

ヒントとなるのは、前述した30～40%の欠落した部分が新駐車場産業として生き残れることができるのではないかと考えます。

社会的劣化・経済的劣化を社会的改革、経済的改革に変化させることによって実現できると確信しています。

<具体的テーマ>

まちづくり（建物） ECO - City へ

新駐車場産業（Green Parking）

- ・環境対応
- ・CO2削減
- ・省エネ
- ・充電スタンド
- ・ECOサービス
- ・ECOサイン計画
- ・ECOライティング
- ・ECO塗装



新しい時代の駐車場は、駐車場事業より駐車場産業への改革が必要と考えます。このことは従来の考え方にこだわればこだわるほど何も生じることは不可能となり改革は難しくなるのではないのでしょうか。

駐車場改革推進協議会は、これからの世界的に通じる環境問題を新駐車場産業を目指して努力したいと思っております。

今、「真坂」という坂は登るにあたって新技術を保有している皆様と共に“接着剤”の役目として新しい芽が出てくることを信じ会員一同努力する次第であります。

おわりにあたって、時代の潮流に合わせた激動の波乗りが皆様と共にできることを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。